

	時間	会場	セッション名	演者	演題タイトル	単位	認定番号	受講申込
①	9:30 -10:30	第4会場	教育研修講演6	石井 義則	先端研究機関以外での30年以上に及ぶTKAにおける臨床・研究の両立の秘訣	N 6, 12	001	
				格谷 義徳	TKA手技習得のための実践的アドバイス -貴方のやり方間違っていますか?-			
②	10:40 -11:40	第2会場	教育研修講演1	古賀 英之	半月板損傷に対する治療の革新	N/S 2, 12	002	
				Romain Seil	(R)evolution of ACL-associated meniscus injuries.			
		第3会場	教育研修講演3	Matthieu Ollivier	Modern understanding of knee osteotomies	N 6, 12	004	
				竹内 良平	膝周囲骨切り術の歴史と将来展望			
第4会場	教育研修講演7	二木 康夫	膝関節動態・立位画像解析の最前線	N 1, 12	003			
		濱井 敏	イメージマッチング法を用いたTKA動態解析の最新知見					
③	12:00 -13:00	第1会場	ランチョンセミナー1	乾 洋	BCS/BCR TKAの臨床実績と更なる可能性	N 6, 12	009	
		第2会場	ランチョンセミナー2	中山 寛	変性半月板損傷に対するアプローチ -当科の変遷-	N 2, 12	005	
				古賀 英之	膝関節機能温存に対する半月板を中心としたアプローチ			
		第3会場	ランチョンセミナー3	Luc Kerboull	The ROCC Knee an original concept for Total Knee Arthroplasty	N 1, 12	006	
				伊藤 匡史	当科におけるサドル型インサートを持つCSモバイルTKAの臨床成績			
		第4会場	ランチョンセミナー4	関矢 一郎	変形性膝関節症に対する自家滑膜幹細胞注射自費診療の実際	N 12, 13	012	
		第5会場	ランチョンセミナー5	竹内 良平	早期社会復帰が可能な膝周囲骨切り術	N 1, 13	008	
				長嶋 遼	AKO術後リハビリテーションの新展開			
		第6会場	ランチョンセミナー6	中田 研	半月板の機能解明から治療開発研究：新たな挑戦	N/S 1, 2	011	
第7会場	ランチョンセミナー7	内尾 祐司	変形性膝関節症における疼痛管理の有効性と課題	N 6, 12	010			
第8会場	ランチョンセミナー8	高木 博	Physica KR人工膝関節システムにおけるデザインコンセプトと短期臨床成績の文献的考察	N 6, 12	007			
		日野 和典	Personalized Alignment 時代に求められる手術とTKAデザイン					
第9会場	ランチョンセミナー9	高橋 恒存	Medial-Pivot TKA および Prophecy Pre-Operative Navigation Guideの有用性	N 6, 12	013			
④	13:25 -14:25	第2会場	教育研修講演2	古松毅之	内側半月板後根断裂 (MMPRT) : 病態と診断	N/S 2, 12	014	
				Jin Goo Kim	Meniscus root repair: Key steps for successful repair and outcomes			
第3会場	教育研修講演4	妻木 範行	軟骨発生研究とiPS 細胞を使った軟骨再生治療法開発	N/S 1, 2	015			
		Chul-Won Ha	cartilage regeneration in Korea					
⑤	14:35 -15:35	第4会場	教育研修講演8	佐藤 卓	症状と関節機能からみたTKAの適応とタイミング～その膝にTKAは必要か?～	N 6, 12	016	
⑥	15:45 -16:45	第7会場	スイーツセミナー1	石塚 真哉	TKA術後に目指すべき患者個々のPersonalized alignment	N 6, 12	018	
				平中 崇文	手術支援ロボットと患者スマートフォンアプリから始まる人工関節DXそしてpersonalized alignment arthroplasty			
		第8会場	スイーツセミナー2	五十嵐 健太郎	ロボット時代に徒手TKAで目指す軟部バランスの最適化	N 6, 12	017	
				山神 良太	CASを活用した適切なTKA術中軟部バランス、下肢アライメントの獲得を目指して			
	第3会場	教育研修講演5	井石 智也	再生医療が膝痛に効くメカニズム	N/S 1, 12	019		
			Kang-Il Kim	High tibial osteotomy and stem cell therapy in patients with knee osteoarthritis				
第4会場	教育研修講演9	津田 英一	バイオメカニクスからみたACL損傷予防	N/S 2, 13	020			
		名倉 武雄	動作解析による膝傷害予防—ACL損傷を中心に					

12/8 (金)	日整会 会員番号： <input type="checkbox"/> 専門医 <input type="checkbox"/> 研修期間 受講料：1,000円 × _____ 単位 = 合計 _____ 円
ご所属先：	氏名 (ふりがな)：